

平成29年度租税教育実践成果報告書

学校名 八代市立東陽中学校

校長名 米村均



1 平成29年度の実践計画

(1) 実践主題

租税について正しい知識と関心を持ち、将来の納税者としての自覚と責任を培い、郷土を愛し、よりよい社会の育成に参画しようとする生徒の育成

(2) 主題設定の理由

熊本県租税教育推進協議会では、租税教育の目標を「社会公共事業に対する理解を深め、租税についての正しい知識を養うとともに、遵法を精神を培うことにより、将来のより良い県民を育成するため」として、県下の中学校を中心に広く実践を推進している。

現代の日本ではゴミ問題やエネルギー問題などの地球環境問題、高齢化社会とその医療費などのさまざまな問題に直面している。その中でも、待機児童の問題や高齢化の進展に伴う医療介護サービスの必要性などの社会保障の充実のために税収を増やすことは必要不可欠な状況となっている。また、政治への不安や不信感などから納税に対する意識も変化中、主権者として民主主義の担い手に必要な資質・能力を育てる必要がある。

本校校区は少子高齢化が進み、限界集落が多数存在している過疎地域である。地域の伝統文化の継承における中学校の役割も大きい。本校の学校教育目標は、「ふるさと東陽を愛し、自ら学び、心豊かにたくましく生き、夢実現に向け未来を切り拓く東陽っ子の育成」である。本校の教育目標を前提に、租税教育を通して「地域・ふるさと」に支えられているという実感を育て、将来の納税者としての自覚と責任をもち、主体的によりよい社会を築こうとする態度を育てたい。

(3) 生徒の実態

本校の生徒は全体的に素直な生徒が多く、落ち着いた雰囲気がある。しかし、少人数であるためか、あいさつや返事なども声が小さく元気がない時もあり、どこことなく自信のなさが表れており、自己肯定感を身につけさせる必要がある。一方、地域の支えもあり、落ち着いた教育環境のもと学習活動を行っている。運動会や伝統文化学習など小中合同で地域をあげて取り組む行事も多い。

しかし、このすばらしい学習環境がどのような形で作られているのかと考える生徒は少ない。

将来納税者の役割を担う中学生において租税を意識する機会は、社会の授業やマスメディアによる報道、家庭での会話などが考えられる。特に、最近では消費税を10%に引き上げる時期について具体的に報道が行われてきた。税に対する報道は、社会保障の充実のために税収を増やすことは必要不可欠であるということよりも、増税によって家計が苦しくなるといったデメリットに注目したものの方が多い。今回の租税教室を通して、主権者として、将来の納税者としてどのように政治に関わっていかなければならないか、ふるさとを愛し、よりよい地域や社会の育成にどのように参画したらよいのかを生徒に考えさせる良い機会としていきたい。

(4) 実践の仮説

身の回りの生活と租税の関係を学習することにより、租税の意義や役割を理解し、現代社会のさまざまな問題を認識、追求することで、自分の生活や郷土を振り返り、自ら考え、行動できる態度を育成することができるだろう。

(5) 租税教育の目標

- ① 租税に対する興味・関心を高め、租税の意義や役割を理解する。
- ② 身の回りの生活と租税の関わりについて知る。
- ③ 公共物や公共施設を大切に作る心や態度を育成する。
- ④ 遵法の精神を培い、学校生活をよりよくする態度を育成する。

2 平成29年度の実践内容

(1) 実践計画

実践項目	実施期日	時間数	実践内容
校内研修	4月6日	1	・担当より租税教育の概要を説明
教科書配布	4月10日	1	・教科書無償の意義について
実践校連絡会	5月17日		・租税教育実践校連絡会議出席 委嘱状の交付 今後の活動内容等についての打ち合わせ
第1回 税に関するアンケート調査 (全校生徒)	5月31日	1	・租税及び租税学習に関するアンケートの実施、結果を集計
租税教室①(全学年)	6月1日	2	・租税教室講話～税の仕組みと種類～ 講師：高司 正太氏(八代税務署)
税に関する職員研修	6月1日	1	・職員研修講話～現在の税制、租税教育について 講師：荒木 賢一氏(八代税務署総務課長)
1年歴史的分野の学習(社会科)	7月	1	・律令制度のもとでの税(租調庸)について学習
租税作文募集(全学年)	夏休み		・夏休みの課題に税に関する作文の募集、提出
税に関する調べ学習(総合的な学習)	10月～	4	・税のしくみについて(税の種類やしくみ)
文化祭	11月19日		・税についてのステージ発表(3年生)
研究授業(3年 社会科公民)	1月31日	1	・わたしたちの暮らしと経済(租税)
2年歴史的分野の学習(社会科)	3月7日	1	・明治政府の政策である地租改正について学習
第2回 税に関するアンケート調査	2月19日	1	・租税及び租税学習に関するアンケートの実施、結果を集計
1年間のまとめ	3月		・1年間の反省とまとめ(成果と課題)

(2) 教科書無償の意義について考える

4月はじめに教科書を配布する際に「教科書無償」について学ぶ時間を設けている。以下のプリントをもとに、教科書が無償になるまでの歴史を説明し、人々の思いについて学習した。また、教科書には税金が使われていることや税金の意義について説明した。

教科書無償の闘い ～伝えていきたいこと～

- ・教科書に対する教師の思い出を語る。
- ・教科書はいくら？
- ・今では教科書がただなのは当たり前だが、昔はそうではなかった。
- ・どうして教科書がただになったのか？
- ・みんなと一緒に学びたいという子どもたちと親、そして教師の闘いがあった。
- ・これからの授業への教師の思いを語る。

○闘いの歴史

高知県高知市（30数年前）

貧しくて教科書も買えず、学校に行けない子どもたちがいた。

（貧しさの影には様々な差別があった。）

授業を補うための夜の学習会での気づき。

— 日本国憲法 第26条（教育を受ける権利）

- 1 すべての国民は法律の定めるところにより、その能力に応じて等しく教育を受ける権利を有する。
- 2 すべての国民は法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負う。義務教育はこれが無償とする。

みんなと一緒に学びたいという子どもたちと親、そして教師の署名運動。

みんなの願いが行政を動かす。

200人分の教科書が無償で配布される。

○みんなと一緒に学びたいという願い → 学力保障

→ 5. 23 狭山への取り組み

（石川さんから一女高生への手紙）

(3) 税に関するアンケートの実施

本校生徒の「税」に関する知識や基本的な考えを把握するために、「租税」に関するアンケートを作成し、本年度5月と2月にアンケートを実施した。アンケートの質問項目は、以下の通りである。

平成29年度 第1回「租税」に関するアンケート

東陽中学校では、昨年度に引き続き、「租税教育実践校」として、「税」に関する学習に取り組んできました。社会科の授業での「租税」に関する授業内容をはじめ、「租税教室」や「税に関する作文」、文化祭での「ステージ発表」などを通して、「税」の意義やしきみなどについて学習してきました。

将来の日本、熊本県、八代市、東陽町を担っていくみなさんに「税」について関心を持ち、学ぶことは、『故郷』について考えることにつながると 생각합니다。その成果として、みなさんの税に関する関心度や知識を知りたいと思いますので、下の質問に正直に答えて下さい。

- 1 税の種類を知っていますか？
ア：5つ以上知っている イ：3～5未満知っている ウ：3未満知っている エ：まったく知らない
- 2 税の使い道を知っていますか？
ア：知っている イ：だいたい知っている ウ：ほとんど知らない エ：まったく知らない
- 3 税は納めなければならないと思いますか？
ア：そう思う イ：少し思う ウ：あまり思わない エ：まったく思わない
- 4 家庭で税の話をしめますか？
ア：よくする イ：ときどきする ウ：ほとんどしない エ：まったくしない
- 5 税を身近なものに感じますか？
ア：とても感じる イ：少し感じる ウ：あまり感じない エ：まったく感じない
- 6 学校内や施設や公共物を大切に使っていますか？
ア：大切に使っている イ：あまり気にしていない ウ：まったく気にしていない
- 7 学校内の設備や公共施設の費用はどこから出ていると思いますか？
ア：国から イ：熊本県から ウ：八代市から エ：その他

- 8 誰もいない教室の電灯がついたままになっていたらどうしていますか？
ア：すぐ消す イ：気が向いたら消す ウ：そのままにしておく
- 9 教科書を大切に使っていますか？
ア：大切に使っている イ：あまり気にしていない ウ：まったく気にしていない
- 10 教科書の費用はどこから出ていると思いますか？
ア：国から イ：熊本県から ウ：八代市から エ：その他
- 11 八代市内で税金が使われている施設を知っていますか？
ア：知っている イ：知らない
- 12 税の学習をする必要があると思いますか？
ア：そう思う イ：少し思う ウ：あまり思わない エ：まったく思わない
- 13 税についてくわしく知りたいことを書いて下さい。

最後まで真剣に答えてくれてありがとうございました。

(4) 生徒対象の租税教室と教員対象の校内研修

6月1日に全校生徒を対象に、八代税務署の高司正太様を講師に迎え、租税教室を行った。税の種類やしぐみに関する講話をしていただいた。税を納めなければならない理由や公共施設や公共サービスなどの財政の役割、小中学校の教育費の支出などから税と自分たちの生活との関わり合い、身近な消費税など、興味がわく話をしていただいた。

『暮らしを支える税を学ぼう』



【視聴DVD】

講話のまとめとして、DVD『暮らしを支える税を学ぼう』の視聴を行った。中学生の主人公が、担任の先生から税務署の社会見学で「税金」について質問するよう頼まれるも、どうしたら良いか分からず、同級生に相談する。そして、税の役割や仕組みを母親や同級生の友人と協力しながら学んでいく・・・というストーリーであった。内容は、身近な税について、納税のイメージ、税の必要性・税の負担方法などわかりやすかった。

また、放課後には八代税務署総務課長の荒木賢一様に、教員を対象とした校内研修を行っていただいた。担任や社会科担当が租税教育の中心となることが多く、租税教育担当に任せっきりになることが多い。そこで、担当以外の先生の研修や他教科での取組の紹介などを行っていただいた。

本校では、社会科が主体として、租税教育に取り組んできた。さらに、社会科で実施する租税教室や税に関する学習、税に関する作文の応募を通してばかりではなく、国語科や美術科、その他の教科においても、税に関して学習する機会を多く持つことで、幅広く税について学習することができ、知識や興味・関心が高まるのではないかと考えた。

- 【研修の内容】
- ・租税教育の内容と指導目標
 - ・租税教育実践校事業の経緯と概要
 - ・租税教育の実践例
 - ・他県の指定校の実践事例（社会科外での実践事例を中心に）

【租税教室計画書】

平成29年5月18日(金)

租税教室実施計画

- 1 目的 租税について正しい知識と関心を持ち、将来の納税者としての自覚と責任を培い、郷土を愛し、よりよい社会の育成に参画しようとする生徒の育成を図る。
- 2 期日 平成29年6月1日(木)
- | | | |
|---------------------|-------------|-------------|
| (1) B日程(朝自習なし 掃除なし) | (2) 講話 | 13:25~14:25 |
| (3) 感想書き | 14:35~15:00 | (4) 帰りの会 |
| | | 15:00~15:15 |
| (5) 校内研修 | 15:30~16:20 | |
- 3 場所 体育館

4 内容 進行 ()

(1) 開会 () (2) 校長先生のお話 (3) 講師紹介 ()

(4) 講話 ～税の仕組みと種類～

講師：(高司 正太) 氏 (八代税務署)

- ・税が必要な理由
- ・税の種類
- ・消費税について・・・用途、税率
- ・税に関するクイズ
- ・お金について(1億円レプリカ)
- ・DVD『暮らしを支える税を学ぼう』※H28『ご案内しますアナザーワールドへ』視聴

(5) 質疑 (10分)

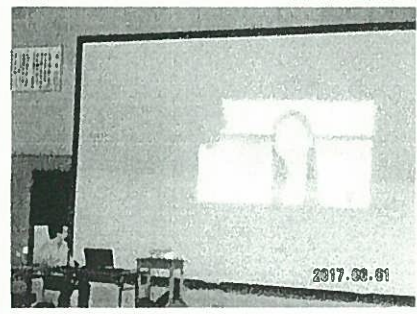
(6) お礼の言葉 ()

(7) 閉会 ()

5 その他

- ①会場には、筆記用具とメモ用紙を持参
- ②事前に、疑問や質問を考えておく。
- ③第1回授業前の事前アンケートは、租税教室前に行います。
日野本までご提出ください。
- ④校内研修は、教職員に対する租税教室について行います。
・租税教育の方針について ・各学校や他県の実践 ・所得税についての基本的な知識 など

【租税教室のようす】



私の通う中学校では、毎年、租税教室というものが行われている。今年は、税に関するビデオを見たり、税務署の方のお話を聞いたりした。租税教室で税に興味を持った。そして、税がより身近なものに感じた。私は、もっと知りたくってインターネットや本でもよく調べるようになった。税が大事だということが分かってきた。もし税がなくなったら、世界はみんなが安全に暮らせるのだろうか。いや、そうではないと思う。やはり、私たちの生活がこんなにも安全で快適なのは税があるからだと思う。だから、これからも税を守っていかなければならない。笑顔で暮らせる未来のために。

【(6)平成29年度文化祭での取り組み
【文化祭ステージ発表】】



【文化祭ステージ発表シナリオ】

<p>森のさくら ミッコ お父さん ミッコ お父さん ミッコ</p> <p>（第四部 エンディング） 楽しかったことも、苦しかったこともあった2年生。たくさんの思いを胸に、私たちが（僕たちが）3年生に進級した。</p>	<p>（おじいちゃんさる） おじいちゃんお花が咲いてうれしそう。よかった。元に戻れたんだわ。（涙にたじろぎ） ただいま。 おかえり、ミッコ。 はい。お父さんのお誕生日ケーキ。誕生日、おめでとう。（家族みんな一緒に） （ステージの幕がしぼまる。）音楽一豊に静れば、服装はそのままで</p>	<p>平成二十九年度文化祭 三子構成劇「未来の三ツ子の税金のない世界」シナリオ</p> <p>Directed by () Cast () ①三ツ子のおぼあちゃん ②お父さんおぼあちゃん ③おぼあちゃんおぼあちゃん ④おぼあちゃんおぼあちゃん ⑤おぼあちゃんおぼあちゃん ⑥おぼあちゃんおぼあちゃん ⑦おぼあちゃんおぼあちゃん ⑧おぼあちゃんおぼあちゃん ⑨おぼあちゃんおぼあちゃん ⑩おぼあちゃんおぼあちゃん ⑪おぼあちゃんおぼあちゃん ⑫おぼあちゃんおぼあちゃん ⑬おぼあちゃんおぼあちゃん ⑭おぼあちゃんおぼあちゃん ⑮おぼあちゃんおぼあちゃん ⑯おぼあちゃんおぼあちゃん ⑰おぼあちゃんおぼあちゃん ⑱おぼあちゃんおぼあちゃん ⑲おぼあちゃんおぼあちゃん ⑳おぼあちゃんおぼあちゃん</p> <p>（第五部）（二子前）ミッコさんさる Your happiness is my happiness. 私たちは平成28年と29年の2年間、租税の勉強をしました。公民の授業で習った税金の三大原則「納税＝勤労＝して納税」私たちが納めた税金は有効に使われているのだろうか。私たちが社会を育てていることを感じさせてくれた勉強でした。ミッコさんは今頃、何をしているのか？ （ステージの電気が消える） （スクリーンに鮮やかな映像のエンディングが映し出される。） （そして、一年ぶりにミッコさんが登場。）音楽「運は静れば」 今日はお父さんの誕生日。これからケーキを買いに行くところなの。（ケーキ屋さん） （ケイキ屋） こんにちは。3000円のケーキを予約したミッコです。いらっしゃいますか。こちらのケイキ、消費税が入りまして2440円になります。（お金を渡す） ケイキ屋 ありがとうございます。またよろしくお祈りします。 （ミッコ） 3240円か。消費税って何であるんだろう。3000円のケイキながら、2440円納した訳分たわ。消費税がなかったら、私のおごすかい。240円損しなかったのに、やっぱり消費税なんていらぬわ。なんで5%だったのにな。今は8%。また今年10%になるらしいわ。なんで上がっちゃうんだろう。 （戻って家に帰る途中）背景画「いつもの町並み」 あれ、こんなところにイスなんかあった？ちよっと座ってみよう。たっ。なんか眠くなってきちゃった...</p>
---	---	---

3年生では、総合的な学習の時間や社会科の公民的分野での学習を文化祭でステージ発表した。昨年度は『ミツコの知らない世界』と題して、租税教育に職場体験学習を絡めてステージ発表を行った。本年度の本校の文化祭テーマは「ACTIVE 東陽～笑顔あふれる未来へ！～」。このテーマに関連させながら三年間を振り返る構成詩の中で租税教育に関する劇を行った。昨年度の続編として『未来へのメッセージ～ミツコの税のない世界～』ということで、税のない生活はどのような世界なのかを劇にした。いろいろな実践や昨年の租税教室で視聴したDVDなどを参考にさせていただいた。小中連携の取り組みや伝統文化学習などの取組などがあり、時間の確保が難しかった。

(7) 税に関する学習

今年度も社会科の授業において税に関する学習に取り組んだ。1年生の歴史的分野では「律令制のもとでの税」、2年生の歴史的分野では「明治政府による地租改正」について学習した。

3年生では、直接税・間接税・国税・地方税・累進課税など税に関する基本的な学習をした後、現在の社会保障制度や財政の役割の学習を通して、財負担のあり方や使われ方、今後不足する税収入をどうしたらよいかを考えさせる授業を実施した。最後の「あなたは、何%までだったら、消費税増税に賛成しますか？」の授業では、20%くらいまでなら賛成できる、とほとんどの生徒が答えていた。税の無駄遣いがないよう国民がしっかりと見張る必要があること、また、そのために18歳以上になったらきちんと投票に行き国民の代表にふさわしい人を選ぶことが重要であることも学んだ。学習指導案を紹介したい。

第3学年1組 社会科学習指導案

平成30年1月31日(水) 第4校時
指導者 教諭 日野本 充

- 1 単元名 政府の役割と国民の福祉
(新しい社会 地理東京書籍 P146～153)

2 本時のみどころ

校内研修テーマ： 共通テーマ：「自他の学びのために主体的に活動する子どもの育成」
中学校サブテーマ：～学びを深める伝え合いをめざして～

◎学びを深める伝え合いをする力をつけるために、授業内で交流し合って伝え合う場を設定する。

- ・グループ活動では、ジグソーグループ、ホームグループなどを活用し、一人一人の生徒の考えを大切にしていきたい。
- ・多面的・多角的に考察させ、公正に判断させるとともに、適切に表現する能力と態度を育てるために、4つのテーマに分けて調査させたい。
- ①今の税金の問題から②国の財政の問題から③景気対策の問題から④今の社会保障に対する問題から

◎学びを深める伝え合いをする環境づくりを推進する手だて

- ・発表を通して、さらなる学習意欲を喚起するとともに、発表の仕方や聞き方、友達の良いところを認め吸収する能力と態度を身につけさせたい。
- ・「東陽スピリッツ」「八代スピリッツ」の徹底を図り、学習規律の習慣化を図りたい。また「話し合い・発表の仕方」を提示し、生徒の話し合い活動や発表活動の充実を図りたい。

3 本時の学習

(1) 本時の目標

一人一人が調べて出した結論をもとに、グループ・全体討議で、「あなたは、何%までだったら、消費税増税に賛成しますか？」という課題に対して意見を述べ合うことで、自分の考えを深めることができる。

(2) 本時の展開

過程	時間	学習活動	指導上の留意点・評価	備考
導 入	2分	1 前時までの学習を振り返る。	・本時の学習内容を把握し、見通しを持つことができるように、前時までの学習を振り返らせる。	7/24/2018
展		2 本時の課題を把握する。		

		(課題) あなたは、何%までだったら、消費税増税に賛成しますか？		フラッシュカード
開	18分	<p>3 『消費税検討委員会』を開こう。</p> <p>(1) ホームグループで、ジグソーグループ内で結論を出した担当項目について発表し、学習課題に対する考えも述べ、班で結論を出す。ホワイトボードに理由を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームグループ内の話し合いにより質問や意見を出し合い、考えを深めさせ、学習課題に対しての考えとその根拠をまとめさせる。 ・他のグループから質問が出ても答えられるように理由をしっかりとと言えるように指導する。 <p>徹底指導 (ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習内容事項を生かし、読み取らせる。 <p>能動型学習 (ポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・根拠となる資料をもとに、自分の意見をまとめさせる。 ・他の考えと比較し、質問し合い話し合う中で、自らの考えを深めさせる。 <p>○私は、国の財政について調べましたが、○○の理由で増税には反対です。○%位がいいと思います。</p> <p>○僕は、社会保障について調べたのですが、△△だから、増税に賛成です。△%がいいと思います。</p> <p>○意見をまとめます。総合的に考えると、□□の理由から、□□意見が多かったようです。</p>	<p>ワークシート ホワイトボード マジック</p>
	15分	<p>(2) ホームグループで話し合ったことをもとに、クラス全体で学習課題に対する考えを発表して、意見交換をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・意見が出ない場合は、今までの資料を振りかえる時間を与え、出た意見を検証させる。 ・意見が偏る可能性があるが、これからの日本はどうあるべきか、総合的に判断させる。 <p>○1班の「○○」の理由ですが○○のことに関しては、○○の理由としては、おかしいと思います。</p> <p>○私たち2班は△△の理由から「消費税は△%がいい」と考えました。</p> <p>○□□の理由から歳出をできるだけ削減して増税を考えたほうがよいと思います。</p>	<p>ワークシート</p>
	10分	<p>(3) 意見交換を聞いて、最終的な自分自身の考えをまとめる。ホワイトボードに理由を書き、意見交換をする。「世論調査結果」を知る。</p>	<p>○今までの学習を踏まえて、<u>今後の日本はどう進むべきか最善の方法</u>を考えて、記入させる。</p>	<p>世論調査結果 ホワイトボード マジック</p>
		<p>【言語活動】 自分なりの言葉で表現することにより、思考力や表現力の育成を図る。</p>		
ま と め	5分	<p>4 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業を振り返り、各自、学習してわかったことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時を振り返り、将来の納税者としてどのように政治に関わっていかなければならないかを考えさせる。 	<p>ワークシート</p>

3 平成29年度の実践結果と今後の課題

(1)「租税」に関するアンケートより

1 税の種類を知っていますか？

ア:5つ以上知っている イ:3~5未満知っている ウ:3未満知っている エ:まったく知らない

1回目	ア	9	26%	イ	8	24%	ウ	16	47%	エ	1	3%
2回目	ア	17	50%	イ	8	24%	ウ	8	24%	エ	0	0%

2 税の使い道を知っていますか？

ア:知っている イ:だいたい知っている ウ:ほとんど知らない エ:まったく知らない

1回目	ア	8	24%	イ	19	56%	ウ	6	18%	エ	1	3%
2回目	ア	13	38%	イ	15	44%	ウ	5	15%	エ	0	0%

3 税は納めなければならないと思いますか？

ア:そう思う イ:少し思う ウ:あまり思わない エ:まったく思わない

1回目	ア	27	79%	イ	5	15%	ウ	0	0%	エ	2	6%
2回目	ア	29	85%	イ	3	9%	ウ	0	0%	エ	0	0%

4 家庭で税の話をしてもらいますか？

ア:よくする イ:ときどきする ウ:ほとんどしない エ:まったくしない

1回目	ア	0	0%	イ	6	18%	ウ	4	12%	エ	24	71%
2回目	ア	1	3%	イ	4	12%	ウ	9	26%	エ	19	56%

5 税を身近なものに感じますか？

ア:とても感じる イ:少し感じる ウ:あまり感じない エ:まったく感じない

1回目	ア	16	47%	イ	12	35%	ウ	5	15%	エ	1	3%
2回目	ア	20	59%	イ	9	26%	ウ	3	9%	エ	0	0%

6 学校内や施設や公共物を大切に使用していますか？

ア:大切に使用している イ:あまり気にしていない ウ:まったく気にしていない

1回目	ア	31	91%	イ	3	9%	ウ	0	0%	エ	0	0%
2回目	ア	32	94%	イ	1	3%	ウ	0	0%	エ	0	0%

7 学校内の設備や公共施設の費用はどこから出ていると思いますか？

ア:国から イ:熊本県から ウ:八代市から エ:その他

1回目	ア	11	32%	イ	13	38%	ウ	11	32%	エ	1	3%
2回目	ア	7	21%	イ	12	35%	ウ	12	35%	エ	0	0%

8 誰もいない教室の電灯がついたままになっていたらどうしていますか？

ア:すぐ消す イ:気が向いたら消す ウ:そのまましておく

1回目	ア	32	94%	イ	2	6%	ウ	0	0%
2回目	ア	31	91%	イ	1	3%	ウ	0	0%

9 教科書を大切に使用していますか？

ア:大切に使用している イ:あまり気にしていない ウ:まったく気にしていない

1回目	ア	31	91%	イ	3	9%	ウ	0	0%
2回目	ア	27	79%	イ	3	9%	ウ	2	6%

⑩ 教科書の費用はどこから出ていると思いますか？

ア:国から イ:熊本県から ウ:八代市から エ:その他

1回目	ア	20	59%	イ	8	24%	ウ	6	18%	エ	1	3%
2回目	ア	18	53%	イ	7	21%	ウ	7	21%	エ	0	0%

⑪ 八代市内で税金が使われている施設を知っていますか？

ア:知っている イ:知らない

1回目	ア	15	44%	イ	19	56%
2回目	ア	23	68%	イ	9	26%

⑫ 税の学習をする必要があると思いますか？

ア:そう思う イ:少し思う ウ:あまり思わない エ:まったく思わない

1回目	ア	25	74%	イ	7	21%	ウ	1	3%	エ	1	3%
2回目	ア	22	65%	イ	8	24%	ウ	2	6%	エ	0	0%

⑬ 税についてくわしく知りたいことを書いて下さい。

以上のような取組を行い、委嘱2年目が終わろうとしているが、生徒はどのように変容したのか、アンケートを取り分析してみた。

家庭では税についての会話があまりなされていないが、生徒たちの「税」に関する興味・関心の高まりはある程度見られた。租税についての知識や関心はあるが、あいまいな理解もあった。「税金＝取られるもの」というマイナスイメージは少なくなり、「自分たちが納めた」税金によって、自分たちが支えられているという認識がみられるようになってきている。

(2) 成果と課題

平成28年度から2年間にわたる租税教育研究委嘱校としての取組を通して、本校の教育目標である「ふるさと東陽を愛し、自ら学び、心豊かにたくましく生き、夢実現に向け未来を切り拓く東陽っ子の育成」ことをめざしてきた。教科以外の学級活動・道徳・総合的な学習の時間における取組では、租税に関する学習の時間を新たに作るには限界があったが、従来行事の中で関連づけて取り組んできた。

普段は税に関する学習はおもに社会科が中心となるが、総合的な学習の中で取り組んで成果により、生徒感想やアンケート結果から、税に関する興味・関心は着実に高まり、税が社会のために必要だという認識も強まっていると思われる。また、税に関するさまざまな活動から税を身近なものと感じ、自分たちの身の回りの生活や地域に目をむけることができた。

また、教職員向けの租税教育の研修を開催したことで、教職員も一緒に税についての理解を深め、自分たちの身の回りにあるさまざまな物が、自分たちの納めている税金によってまかなわれていることを改めて認識することができた。

本校は小中一貫・連携教育の研究や伝統文化学習などいろいろな研究を行っている。その中で租税教育をどう位置づけ取り組んでいくか、学校総体としてどのように全教科で取り組んでいくのか検討の必要がある。八代税務署の皆様には専門的な立場から、税に関する知識や税に関する仕組みなどを丁寧に教えていただいたことで、生徒たちの税に関する興味・関心を高め、理解を深めることができたと思われる。関係機関の方々には感謝を申し上げたい。